

<p>いつもありがとうございます！ だっぴ 応援企業</p>	 有限会社アクシス	 旭テクノプラント株式会社	 アースエイト
<p>岡山のブランディングデザイン会社 <b>UPPER VILLAGE</b> アップービレッジ有限会社</p>	<p>e.K. consultant 有限会社 e.K. コンサルタント</p>	 ウェブクリエイティブ株式会社	 岡山トヨタ自動車株式会社
<p><b>muRata</b> INNOVATOR IN ELECTRONICS 株式会社岡山村田製作所</p>	 関西プラスチック工業株式会社	<p><b>株式会社 研美社</b> 株式会社研美社</p>	<p><b>株式会社 重藤組</b> 株式会社重藤組</p>
<p><b>シバセ工業株式会社</b> シバセ工業株式会社</p>	<p><b>株式会社 トンボ</b> 株式会社トンボ</p>	 株式会社ニッカリ	<p><b>netlinks</b> ネットリンクス株式会社</p>
<p>手をとりあって未来へ <b>備前日生信用金庫</b> 備前日生信用金庫</p>	<p><b>HIRAKIN</b> 平林金属株式会社</p>	<p><b>藤クリーン</b> 藤クリーン株式会社</p>	<p>みんな元気に <b>株式会社マスカット薬局</b></p>
 ライト電業株式会社	<p><b>WWS</b> Inspire worldwide 株式会社 World Wide System</p>	<p>寄付 会員 だっぴさぽーたー募集中！</p>  <p>公式LINE 募集情報など配信しています！</p> 	

# DAPPI 2020 NPO法人だっぴ 年次報告書

いい出会いは、いい人生をつくる！



「君ならでできるよ」と言われて自信がついて嬉しく思った。

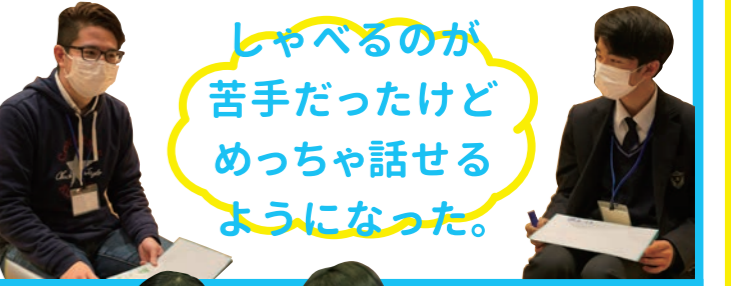


その人の人生で学んだことを少し分けてもらえた気がした。



普段聞けない話が聞けてとても楽しかったし、今まで引っかかっていた不安が消えた気がする。

やりたいことはまだないけど見つけてカタチにしたいと思った。



しゃべるのが苦手だったけどめっちゃ話せるようになった。



素の自分を  
出せた！



## 2020年の活動を振り返って

新型コロナウイルスによってもたらされた“人との接触をできるだけ回避する”という生活の変化は、人とのつながりを希薄化させるような影響もありました。中学校の職場体験を中止にせざるを得ない地域もあり、中学生の進路意識を醸成しにくい環境が続きました。一方、オンライン会議ツールの普及によって、デジタルを媒介したコミュニケーションが進んだ、そんな2020年度だったかと思えます。

私たちだっぴの活動もまた、コロナ対策の試行錯誤を行う1年となりました。だっぴの対話は、異なる他者の「存在」が重要です。直接的な接触を避けるという制約の中、感染予防対策を行っているオフライン実施やオンライン実施などで、若者と大人のつながりづくりを行いました。中学生740人、高校生479人、大学生624人、大人621人がだっぴの活動に参加し、ともに場づくりをしてくださいました。本当にありがとうございます。

2020年度は、大きく3つのチャレンジがありました。1つ目は、「中学生・高校生だっぴ」のプログラムのブラッシュアップ。3年ほど前から地域ごとにプログラムが少しずつ変化していった結果、その違いは“地域らしさ”になりつつあります。2つ目は、その「中学生・高校生だっぴ」の“ノウハウ移転の先”の事例が生まれてきていること。いくつかの地域では、だっぴの対話だけでなく、子ども・若者の関心に沿ったチャレンジの機会や学びづくりが行われています。彼ら彼女らを育んだ地域だからこそできる、教育を豊かにしていく活動を、地域の人たちとともに挑戦していきたい。たくさんの人たちに“教育の関わりしろ”をつくっていきたくと思っています。3つ目は、オンラインのつながりを考えること。非接触での交流を考える際、オンラインの場合はオフラインの代替ではなく、別の何かとして設計していくことが重要で、その設計の中で「オンラインのつながりとは」を考えながらトライを繰り返しました。その1つが、これまでだっぴに関わってくださった大人の人たちをアーカイブしていくWEBメディア「生き方百科」です。

私たちは、多くの地域で若者と大人がつながる機会を定着させていくことを命題に掲げ、活動を行っています。この報告書にある活動や数字はその一部で、それ以外にも多くの方が私たちの活動を支えてくださっていることに心より感謝いたします。

自分の解は自分でしかつけれない。自分の人生を自分で開拓していける若者が増えたらいいなと思っています。しかし、それは自分1人でつくれるものではありません。様々な人たちの在り様に触れて、その出会いの中で自分の可能性を広げながら、生きることを試行錯誤していく。「いい出会いは、いい人生をつくる。」とは、そういうことなんだろうと思います。私たちもまた、試行錯誤を止めず、私たちにできるつながりづくり・環境づくりを継続していきます。

皆さんとの挑戦で、地域を豊かにしていきたい。  
どうか、引き続きよろしく願いいたします。

NPO法人だっぴ 代表理事  
**森分 志学**

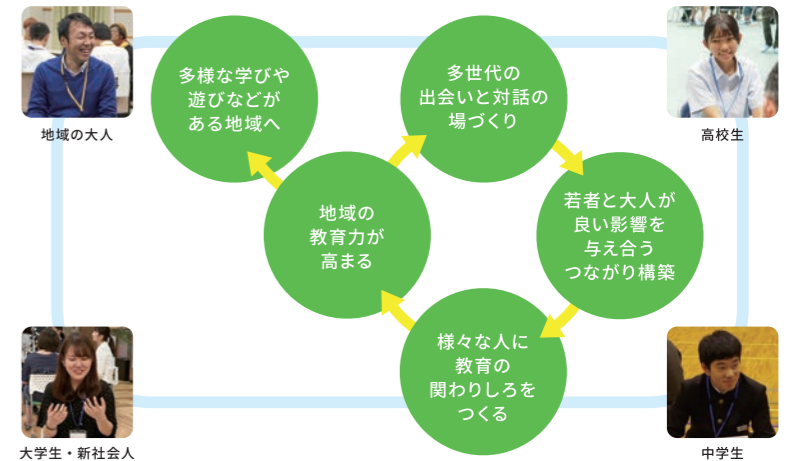


## About

### 一人ひとりの若者が 人とのつながりの中で 自分らしく生きられる社会へ

NPO法人だっぴでは、「若者の可能性と実現力の開拓」をミッションに、若者と大人がつながる場づくりを行っています。様々な立場の人たちがつながり、学びが生まれるコミュニティをより多くの地域につくっていきます。

世代を超えてつながり、学び合う地域をつくる



## Projects



**だっぴ 50×50**  
2021/2/28  
オンライン開催

若者と岡山で魅力的に生きる大人が出会う。若者がつくる、若者のための若者の場。大学生ら実行委員会がおよそ1年間かけて場づくりを行うプロジェクト。

参加者合計 | 大学生 50人、大人 40人、キャスト 14人



**ぷちだっぴ、  
テーマだっぴ**

大学生が自分のつくりたい場づくりに挑戦する。テーマだっぴは、「教育×だっぴ」「岡山県北はたらく×だっぴ」などを開催。

参加者合計 | 中高生 20人、大学生 105人、大人 83人



**生き方百科プロジェクト**  
生き方百科

岡山の様々な大人の生き方を紹介するWEBメディアづくり。また、高校生が放課後に大学生とオンラインで交流する機会などを月1回実施。

参加者合計 | 高校生 12人、大学生 50人、大人 21人



**その他**  
探究学習・コロナ支援

- 探究学習 : 矢掛高校「ESD探究」。高校生がファシリテーター実践を通して人とつながる力を高める授業を実施
- 災害支援 : 倉敷市立菟小学校だっぴを実施
- コロナ支援 : おかやま親子応援プロジェクトに参画しオンライン学習支援を開始

# 中学生・高校生だっぴ

「中学生 × 大学生(キャスト) × 大人」の多世代交流プログラムを行っています。

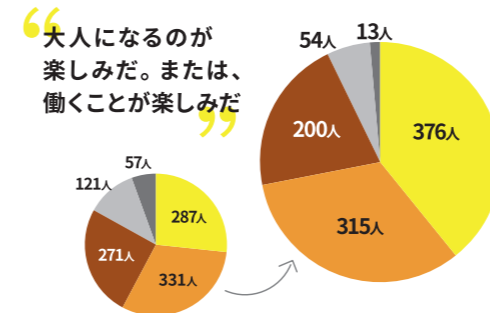
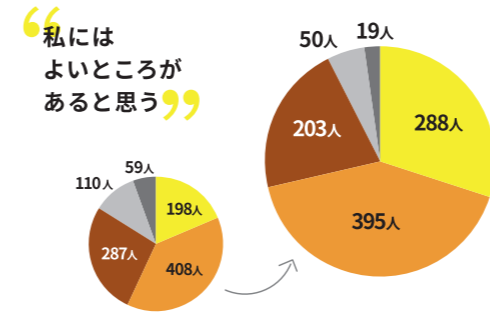
■ 中学 ■ 高校 ■ その他

- |  |  |
|--|--|
| 1 6/13 オンライン<br>オンラインだっぴ × 学塾 誠和学舎<br>中学生10人、高校生9人、キャスト6人、大人6人 | 2 7/19 オンライン<br>中学生だっぴ オンライン<br>中学生16人、キャスト18人、大人10人           |
| 3 8/30 オンライン<br>中高生だっぴ オンライン<br>中学生3人、高校生3人、キャスト3人、大人6人        | 4 9/10 青谷高校<br>鳥取県立 青谷高校生だっぴ<br>高校生57人、キャスト18人、大人19人           |
| 5 9/11 吉井中学校<br>赤磐市立 吉井中学生だっぴ<br>中学生66人、キャスト25人、大人21人          | 6 9/25 高陽中学校<br>赤磐市立 高陽中学生だっぴ<br>中学生82人、キャスト33人、大人27人          |
| 7 10/18 あわくら会館/オンライン<br>西粟倉 中高生だっぴ<br>中学生8人、高校生3人、キャスト8人、大人5人  | 8 10/30 赤坂中学校<br>赤磐市立 赤坂中学生だっぴ<br>中学生18人、キャスト10人、大人8人          |
| 9 11/7 倉敷高校<br>倉敷高校生だっぴ<br>高校生22人、キャスト12人、大人10人                | 10 11/25 建部中学校<br>岡山市立 建部中学生だっぴ<br>中学生24人、キャスト7人、大人8人          |
| 11 12/2 片上高校<br>備前市立 片上高校生だっぴ<br>高校生11人、キャスト1人、大人10人           | 12 12/19 津山中学校<br>岡山県立 津山中生だっぴ<br>中学生64人、キャスト26人、大人29人         |
| 13 1/9 早島中学校<br>早島町立 早島中学生だっぴ<br>中学生102人、キャスト41人、大人41人         | 14 1/23 オンライン<br>はらたくねっこ @美作高校<br>高校生71人、キャスト34人、大人40人         |
| 15 2/10 勝北中学校<br>津山市立 勝北中学生だっぴ<br>中学生56人、キャスト12人、大人38人         | 16 2/16 日生中学校<br>備前市立 日生中学生だっぴ<br>中学生35人、キャスト14人、大人33人         |
| 17 2/16 三石中学校<br>備前市 三石中学生だっぴ<br>中学生9人、大人12人                   | 18 2/17 オンライン<br>KTCおおぞら高等学院 ×だっぴオンライン<br>高校生57人、キャスト12人、大人11人 |
| 19 2/18 オンライン<br>備前市立備前中学生だっぴ @オンライン<br>中学生119人、キャスト63人、大人43人  | 20 2/24 庄中学校<br>倉敷市立 庄中学生だっぴ<br>中学生123人、キャスト1人、大人4人            |
| 21 2/25 鴨方高校<br>岡山県立 鴨方高校生だっぴ<br>高校生95人、キャスト29人、大人32人          | 22 3/16 林野高校<br>岡山県立 林野高校生だっぴ<br>高校生112人、キャスト41人、大人36人         |

\*コロナのため代替案で実施

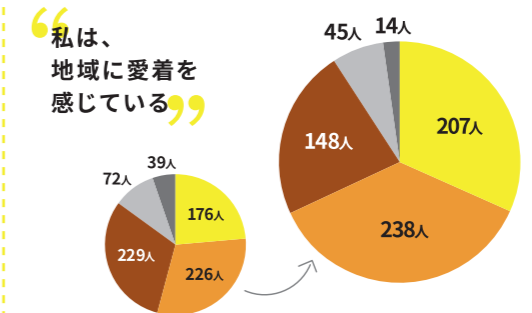
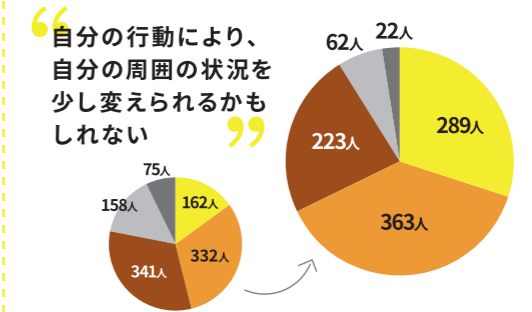
## 参加者の変化

参加合計 ▶ 中学生: 738人 ▶ キヤスト: 414人  
▶ 高校生: 437人 ▶ 大人: 449人



だっぴの前後で参加した中高生にアンケートを実施しました。地域の大人との交流を通して、中高生に見られた考え方や心境の変化をご覧ください。

■ とてもそう思う ■ まあそう思う ■ どちらでもない  
■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



## 参加した中高生の声

進路や生き方は人によって全く違うし自由だということに気づきました。

これからの進路に向けて少し気が楽になりました。

違う価値観にふれることはとてもおもしろかった。人と人のつながりはどんなときでも大切だと思った。

自分のことを知れるいい機会だったと思う。少し自分の意見を言えるようになったと思う。

大人の人たちは皆さん輝いていて、私もそうなれる未来があることに安心したし、希望を見つけられた。





## たけべ部

### 岡山市建部

2017年11月、建部での初「だっぴ」開催後、思いを共有した有志の皆さんが集まって実行委員会が発足。「ふるさと建部への愛着を高める」「地域で活躍できる人材育成」を目的として、建部中学生を対象に「たけべ中学生だっぴ」「たけべ部」の活動を開始。2019年には、岡山県公民館連合会主催「第3回 公民館職員が選ぶ！講座アワード」でグランプリを受賞されました。

建部中学校の全校生徒は100名未満。人数が少ないことで一人ひとりが大切にされるという良さの反面、クラス替えない3年間や部活の種類が限定されていることなど、選択肢の少ない中学生時代を送っている現状があります。進学時には、建部に高校がないことから必然的に地域外へ出ることになり、就職を考えた際にも、仕事の数や種類の少なさ、高齢化による担い手不足などで休廃業の増加も懸念される状況です。そうした背景から、建部の中学生は

「なりたい大人像を描きにくい」のではないかと心配を抱きました。

未来を担う中学生に、自分のふるさと建部に誇りを持ってほしい。将来、建部を担っていくたくましい大人に育ってほしい。たとえ建部から出る選択をしたとしても、ふるさと建部に誇りを持ち続けられるように。そして、いつでも安心して帰ることのできる場所にしていけたら…。

そのためには、建部の魅力を（危機的な現状も含めて）知り、建部のまちづくりに向けて具体的な提案をし、ひとつでもその提案が実現されるという経験が必要ではないかと考えました。

### たけべ塾

毎回1人、建部の大人をゲストに招いて中学生とディスカッションをします。建部で活躍する魅力的な大人の生き方や価値観、建部への思いを聞くことで、中学生それぞれの中にふるさと建部への思いを形作ることができたらと考えています。



### 放課後だっぴ

中学生（3年生）と建部の大人が放課後に集まって、今の自分を見つめたり、将来を思い描いたりしながら、ゆるっと対話。1年前に参加しただっぴから自分が成長したことを話してくれる中学生もいて、たけべ中学生だっぴの価値を再認識する機会にも。「今年のたけべ中学生だっぴで話し合してほしいトークテーマは？」というテーマでも話をし、中学生自身も後輩が参加する「中学生だっぴ」の企画に少し関わってもらいました。

### たけべマルシェ

建部を元気にしたい大人達が開催する「たけべマルシェ」にカレー店を出しました。自分たちでメニュー決め、レイアウト、調理販売を行い、多くのお客さんに喜んでもらうことができました。売上金の一部を花火大会や次年度のたけべ中学生だっぴへ寄付。中学生たちは、大人と一緒に地域を盛り上げる体験を通じて、普段の生活からは思いもしなかった様々な学びを感じとってくれたようです。



それぞれの地域で実行委員会形式として、ともにだっぴをつくってくださっている皆さん。

しかし、その実行委員会は「中学生だっぴ」をするためだけの組織ではなく、様々なかたちで若者に関わる活動を行っています！その取り組みについて取材しました。

備前若者ミライprojectは、2019年度にNPO法人f.saloonを中心とした備前の有志メンバーによって発足されました。備前市だからこそできる多世代交流を実現し、若者たちの人との出会いや社会とのつながりを豊かにすることを目指します。

活動は中学生だっぴに限らず、若者のやりたいことや社会での活躍を応援すべく、チャレンジを続けています。

備前若者ミライprojectは、備前の未来を担う中高生にいろんな出会いや挑戦の機会を提供したいという願いを持って活動しています。そしてその願いを地域の人たちを巻き込んで実現していくことで、やがてはまちのみんなが子どもたちの「やりたい」を応援してくれる、そんな備前市にしていきたいと思っています！

### 中高生の居場所づくり

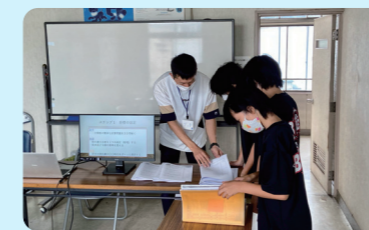
中学生・高校生だっぴは非日常の場であり、中高生が日常の中でも学校外の社会と接点をもてたり、自分が活躍できたり、心安らかに居られたりする、そんな居場所をつくるプロジェクトを実験的に実施しました。実験期間中は、「どんな場所にしたいか」を高校生と一緒に考えたり、ダンスをしたい小学生から高校生が集まって、ダンスをしたりしていました。



### 片上高校レクリエーション

片上高校でのだっぴが終わってから1ヶ月が経った頃、片上高校のレクリエーション活動の日にお邪魔して、高校生たちとクリスマスリースをつくりました。1ヶ月前に同じグループだった高校生たちはもちろん、昨年のだっぴに参加した高校生たちとも再会したりして、手を動かしながらおしゃべりする温かい場になりました。

### ゆるーい定期考査対策勉強会



中高生の自習スペースとして公民館を開放。中高生たちは、大人の人に勉強の相談をしたり、大学生とおしゃべりしたり、友達と宿題をしたりしました。



## 備前若者ミライproject

### 備前市

2017年夏、備前市教育委員会と協働のもと、備前市内の中高生を公募するかたちで「備前市中高生だっぴ」を開催しました。以来、だっぴは継続され、2021年度は備前市内全中学2年生を対象に開催予定。

## だっぴの中で印象的だったシーンは？

**ゆうな** だっぴで「目標に向かっていく時にどうするか？」という問いがあって、私は「トンネルの先が見えないと頑張れない」という様な答えを出したんですけど、同じグループの大学生は「先が見えない方が頑張れる」みたいなことを言われて。近い年代でも真逆の考えが出るのが新鮮でした。真逆なんだけどどっちも否定されないのが凄く嬉しかったのを覚えています。

**あやめ** 高校の中では、自分の意見を言うタイミングが多くはないよね。

**ゆうな** たしかに、皆で力を合わせて行こうみたいな考え方が多いですね。出る杭は打たれるじゃないけど。一人だけ勝手なことしたら、何か言われるんじゃないかと思ってんですけど、だっぴでやっていく中で好きなことしていいんだなぁと思ったんです。それで「私、こういうボランティアやってるよ、いいよ」って他の人に言えるようになったし、ボランティア団体を作ろうかなって思うことができた。色々な価値観を聞くていうのはすごい大事なんだなって思います。

**あやめ** 印象的なシーンは色々あるんですけど、一番は高校生でだっぴ50×50に初めて参加した時。家族でも先生でもない、私が知らない種類の大人がいた。世界が広がった感じがしたんですね。自分が知らないことが、岡山にもあるんだなってショックだったような気がする。高校は近い偏差値の人が集まっているから、似たような人しか出会ってなかったんだあって。だからだっぴに参加して、大学生になったら誰かの視野を広げることしたいって思って、だっぴいいなって思ったんですよ。

**いずみ** だっぴには高校生の時に初めて参加しました。何となく大学受験して教員目指せたらいいなみたいに思ってた高3だったんですけど、真面目に自分たちのことを話してる大学生・大人がいるっていうのが初めての経験で、凄くなって感覚がありました。高校生活に戻ると、そこにある日常とだっぴでの出来事が全然違うから、どっちが本当なんだろう？みたいな感じがありました。大学進学で鳥取に行き、鳥取でも中学生や高校生にだっぴ

# だっぴ 若者対談

中学・高校生の頃からだっぴに関わり、現在は高校生・大学生・社会人とそれぞれに立場が変わった若者3人が対談！過去の自分を振り返り、それぞれの目標で現在を切り取ります。



あやめ

現在大学生。  
高校生のときに  
だっぴ参加。



ゆうな

現在高校生。  
中学生のときに  
だっぴ参加。



いずみ

現在社会人。  
高校生のときに  
だっぴ参加。

を届けたいと思って、その仕組みを勉強するべく、大学3年生の時に1年間休学してだっぴにインターンしました。

## 若者と大人がつながる意味を考える

**あやめ** 大人とつながったなって印象はありますか？

**ゆうな** めちゃめちゃあります。私は中学・高校でだっぴに参加してんですけど、学校では同じような人が集まって同じような会話をしてる。でも大人って色々な考えを持つ方が同じ会社に勤めたりするじゃないですか。その方々の経験を聞いて考え方が変わったり、何か始めようって決意する人も多くなって思います。

**いずみ** 高校生の時にだっぴで会った方と今もつながって、この間もオンラインで会ったんです。家族ではないけど、こういう関係でずっとつながってるのは魅力的だなって思う。

**ゆうな** その場限りかもしれない大人って、逆に相談しやすいと思いました。普段高校生が相談できる相手は友達や親、先生くらいだけど、実際はどれも相談しにくいこともあります。1回きりかもしれない人だからこそ話せることがある。しかも、だっぴの参加者はバックグラウンドがはっきりしてる方ばかりだから安心できる。結構大きい話になるんですけど、大人とつながれる機会があれば、中学生の自殺率下がると思うんですよ。色々な人に相談できる環境をもっと整理できたら良いのになぁとずっと思ってます。

**いずみ** あと僕は、大人側も若者とつながる価値を見出してもらえると嬉しいなって思います。大人が頼られるだけの存在っていうのは、少しモヤモヤするので(笑)。一緒に学ぶ姿勢みたいなところに行き着くのかな？大人も若者に相談していいんじゃないか、とか。

**ゆうな** これまでは相談に乗ってくれていた大人の人が、反対にこっちを頼ってくれることもあって、その“お互い様”の関係は嬉しいですね。

**あやめ** 私は、色々な大人とつながることで「色々な生き方があっていいことを知っている状態」になることは大切だと思う。自分が正解だと思っている生き方以外にも正解があると知ること、自分が許される、前向きに生きやすくなる、みたいな。

## 「つながる」を問い直す

**いずみ** そもそも、みんなにとっての「つながる」ってどういうイメージ？理想的な「つながる」って何だろう？

**ゆうな** 私は、「この人すごい気が合う」「この人の考え方好きだなー」って思った人に名刺もらったり、SNSでつながってという気軽な感覚です。例えばそこから何も進展がなくても、「その時のつながり」としてずっと残るものだと思っていて。今まで会った人は全員つながりみたいなイメージです。

**あやめ** 私は、今後も何かあったら相談したいと思える関係性を作っているのをつながりと呼んでいて。その場限りの関係も重要だと思うけど、親友とまでいなくても信頼できる誰か、「その人がいれば大丈夫」という存在であってほしい。その誰かを見つけるためにも、色々な人とつながっていく行動は大切だとは思っています。

**いずみ** 僕はどっちかって言うとうなちゃんの方に近くて。会った人全員とつながりたいけど、一方でその関係性をどうやって維持していくかは難しいよね。緩くても途絶えない関係性をつくることを考えたい。

**あやめ** あと、私は大人とか年齢にこだわりはないのかもしれない。年齢関係なく、人と人として考えると、人と人がつながるって、お互いの異文化がぶつかることだと思う。そこから、社会的に価値のある何か、あるいは二人の間で意味がある何かが生まれるのかも。それが人の命を救うとか、人の将来を変えとか、そういう価値になるのかもしれないですね。

**いずみ** お互いにいる世界はそれぞれ違うから、すれ違わないように理解しようと歩み寄ることは重要かも。

**ゆうな** それは若者とか大人とか、そういうの関係なく「人同士の関係」って感じしますね。

**あやめ** お互いが違うという前提で話をするっていう受け皿の広さは、「こういう視点もあるんですね！」みたいな新たな発見や視野を生む上で大切なことかもしれない。

## 若者と大人とのつながりについて話してみよう

**あやめ** 人とつながることについて、自分が許されるという点に私は注目して。 「こうじゃなきゃいけない」をちょっと緩めることができるから生きやすくなる、幸せになるを助ける可能性があるんだっていう発見がありました。つながりから、何か次の一歩が生まれるかもしれないし、すぐには生まれえないかもしれない。でも、それでいい。

**ゆうな** 知ってるけど、同級生や親じゃない、めちゃめちゃ身近にいる人じゃない人と話せるの、いいなって思いました！あと、高校生同士でも「人同士の関係」で話すことができたなら、お互いの考え方が広がっていきそうだなと思いました。

**いずみ** 自分の高校の時も振り返ると、色々な学びがありました。自分は大人の立場にどんどんなっていくんですけど、大人であればあるほど寛容さみたいなものを持つのが難しい気がしています。そのために何が必要かを具体的に言うことは今は難しいけど、何かしたいなっていう感覚になりました。ありがとうございました。

# だっぴは、皆さまの おかげで成り立っています!!

自分に  
正直になれる  
瞬間がある

真剣に自分を見つめ  
言葉に紡ぎ出す場所

たくさんの価値観や  
生き方に触れられる

変化を見守る場

生徒が「個性」を  
肯定してもらえる場

出会いと気づきから  
自分の今を  
確認する感じ

「未来は明るい！」  
って確信を  
深められる場

「あなたにとってだっぴはどんな場ですか？」  
地域の皆さんにお尋ねしました。

会話の中で  
みんながだんだんと  
心を開いて語り始める  
瞬間が楽しみ



2020年度も、沢山のご支援・ご協力ありがとうございました!

LINE@登録数

184名

会員・寄付人数

55名 22団体

寄付総額 (会費は個人・団体)

1,396,644円

- 中学生・高校生だっぴ
- career lab@矢掛高校
- 3rd Place×だっぴ企画「なださき人と出会おう」
- 中学生・高校生だっぴサミット
- 岡山県北はたらく×だっぴ
- 地方×中高生の居場所だっぴ
- だっぴ50×50
- 教育×だっぴオンライン
- ユースワーク勉強会
- 生き方百科
- ぶちだっぴ
- 中学生白書2020発行

などの活動運営費の一部として使わせていただきました。

# 2021

## 豊かなつながりがある 地域を目指して

「人とのつながり」は、場面場面で様々な意味をもちます。

若者と大人のつながりを例に考えるだけでも、将来のロールモデルになることもあれば、お互いに助けられる存在だったり、心の支えになったり、成長や学びを生む存在だったりすると思います。

私たちが関わることで生まれる「人とのつながり」も、そうした多様な意味をもつものでありたい。そのためにも、まずは若者と大人、異なる他者の出会いと対話の場をつくり続け、それをきっかけに地域の教育や暮らしをより豊かなものにしていければと思います。また、大人同士のつながりや様々な人に「教育の関わりしろ」をつくることも必要だと考えます。

「だっぴ」というきっかけから生まれる兆しを、1つ1つかたちにしていく挑戦を、皆さんと一緒にしていきたいと思っています。

引き続き、応援・お力添えの程、どうぞよろしくお願いいたします!

今年度もだっぴをよろしく願いいたします!

各QRコード先から詳細をご覧ください

ご寄付 ご支援

だっぴさぽ一た一  
募集中!



公式LINE

募集情報など  
配信中!



note

活動報告掲載中!

